

〔古語拾遺〕令手置帆負彥狹知二神以天御量等大小斤雜器伐大峽小峽之材而造瑞殿古語美豆能兼美阿良可兼作御笠及矛盾

〔古事記雄略〕是以還上坐於宮之時行立其山之坂上歌曰久佐加辨能許知能夜麻登多多美許母幣具理能夜麻能許知基知能夜麻能賀比爾多知邪加由流波毘呂久麻加斯略下

〔萬葉集十七〕紀朝臣男梶應詔歌一首
山乃可此會許登母見延受乎登都日毛昨日毛今日毛由吉能布禮禮婆

〔古今和歌集卷一〕歌奉れとおほせられし時によみてたてまつれる、
櫻花さきにけらしなあしびきの山のかひよりみゆるしら雲

〔古今和歌集講九〕法皇にしかはにおはしましたりける謂さる山のかひにさけぶといふことを題にてよませ給ふける、
みづね

わびしらにましらななきそ足引の山のかひあるけふにやはあらぬ
〔金葉和歌集夏二〕入々十首歌よみけるに郭公をよめる、
源俊賴朝臣
まぢかねてたづねざりせば子規たれとかやまのかひになかまし

〔倭名類聚抄山谷〕岫 陸詞云岫山穴似袖似祐反和名久木

〔箋注倭名類聚抄山石〕景行紀欽明紀同訓新撰字鏡幃曆訓久支按久岐之言漏也古事記云自手俣漏出所成神本注訓漏云久岐古事記又云自我手俣久岐斯子也是也萬葉集伯勞之草具吉保登等藝須木際多知久吉之氣美登妣久々鶯又本書鷓訓加夜久岐皆同語後世云久具利久具流久具利者久岐之延語久具流者久々之延語也久岐蓋謂山之有穴可潛行然則訓岫字爲允略中
按說文岫山穴也與此義同山田本無也字廣本同

〔類聚名義抄五〕岫音袖山穴 窟古

岫